

吉井町、世知原町って どんなところ？

吉井町、世知原町は、山々の緑に囲まれ、清らかな佐々川が流れる自然豊かな町です。魅力あふれる両町をご紹介します。

歴史、水、緑が豊かな山里 吉井町

恵まれた自然の特質を生かして栽培されるイチゴやメロンは、町の特産物です。名所・史跡では、江戸時代に平戸八景の一つに数えられた「御橋観音」や旧石器時代から古代人の住居として使用されていた「福井洞窟」が有名です。町制施行は昭和26年、人口約6千人。



御橋観音の石橋

自然の造形美 二条の石橋

御橋観音の石橋（吉井町直谷免）旧平戸藩の時代から平戸八景の一つに数えられ、広く知られています。御橋観音寺に安置されている観世音菩薩像は、奈良時代の高僧行基の作と言伝えられています。境内の北側には、二条の天然の石橋が架かっています。石橋は、地上18m、長さ30m、幅5m、厚さ2mあります。御橋観音の名称は、この石橋に由来します。



福井洞窟

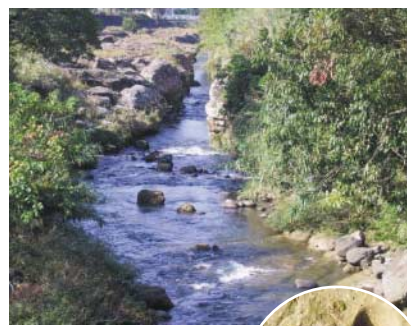
また境内には、国の天然記念物に指定されている40種余りの珍しいシダの群落があります。

秋は紅葉と四季折々の自然が楽しめます。ふれあい広場には、ローラー滑り台やコンピネーション遊具が設置されていて家族連れでにぎわいます。



川の流れが造った大小の穴

ポットホール公園（吉井町大渡免）佐々川の自然を生かして芝生広場や遊歩道などが整備された公園です。ポットホールとは、流れの早い川底の岩盤の割れ目やくぼんだ所に渦が生じ、その力でできた小さな穴に小石が入り、長い年月を掛けて削られてきた円筒状の穴のことです。



ポットホール▶

家族で楽しめる自然公園

牧の岳自然公園（吉井町前岳免）町の中央にそびえる「牧の岳」の頂上からは、町全体を一望することができます。山のアチこちでは「眺め岩」や「仏岩」などの奇岩を見ることが出来ます。春は桜、夏は緑、

全町公園化宣言の町 世知原町

県北最高峰の国見山から佐々川が町の中央部を東西に流れ、水と緑が豊かな高原の町です。町では昭和61年、豊かな自然を生かして「全町公園化」を宣言しました。特産物のお茶は、味・香り・色と三拍子そろった高品質のお茶として親しまれています。町制施行は昭和15年、人口は約4千人。



高原ではぐくまれた世知原茶

世知原町は、県下では雲仙に次ぐ高冷地で降雨量が多く、玄武岩土壌で茶樹の育成に最適な土地です。

昔から国見山麓一帯の農家では、半自生的なお茶を摘み、自家用として釜茶製造が行われていました。明治28（1895）年この地に、静岡式製茶法を指導する製茶練習所が設置されたことにより、製茶技術が向上しました。昭和になり、世知原茶は各種品評会で優秀な成績をおさめ、町が誇る特産物となりました。

明治・大正をしのばせる石橋



町の古き良き石の文化を感じさせる風景を作り出している石橋群（写真は倉瀨橋）

月、世知原茶を中心に農林産物が安価で販売されます。くみに山麓音楽祭「せちばるボタ山コンサート」を継承して、平成9年から開催されています。音楽祭は、国見山系の自然に合う曲目が演奏され、なごやかな雰囲気に包まれます。

長崎せちばるロードレース

ロードレースシーズンの幕開けを告げる大会として、毎年9月の第1日曜日に国内の一流ランナーを招いて開催されます。



長崎せちばるロードレース



じげもん市



くみに山麓音楽祭

宇久町とも合併に向けて 協議を進めています

【お尋ね】 吉井町役場（☎3111） ホームページ <http://www.town.yoshii.nagasaki.jp> 世知原町役場（☎2211） ホームページ <http://www.town.sechibaru.nagasaki.jp>

本市は、平成14年5月に宇久町、小値賀町の1市2町で任意合併協議会を設置しました。その後、小値賀町は協議会を脱退しましたが、宇久町との協議は継続してきました。宇久町は、本土から約60kmの外海にある離島であるため、吉井町、世知原町との合併とは異なる問題があり、慎重に協議を進めてきました。しかし、懸案となっていた医師の確保が県の施策により一定の改善が図られたことや、国・県の財政支援措置や行政の効率化を図ることなどにより本市に大きな負担が生じないこと、合併が地域全体の発展につながることを考えられることから、昨年10月に法定合併協議会を設置しました。

現在、平成18年3月末までの合併を目指して協議しています。

【お尋ね】 市役所市町村合併推進室（☎1111）